

7. 人口動態[自然動態及び社会動態] (平成30年10月1日から令和元年9月30日まで)

- 奈良県の人口増減数 8,740人減少 (1,573人増加)
 - 自然動態：自然増減数 6,248人減少 (3人減少)
 - 〔 出生児数 8,625人 (60人)
 - 〔 死亡者数 14,873人 (63人)
 - 社会動態：社会増減数 2,492人減少 (1,576人増加)
 - 〔 転入者数 28,386人 (4,077人)
 - 〔 転出者数 30,878人 (2,501人)
- ※かつこ内は外国人（内数）の数値
- 月別の人口動態
 - ・ 自然動態 すべての月で、出生数が死亡数を下回っている。
 - ・ 社会動態 H30年10月及びH31年4月を除き、転入者が転出者を下回っている。

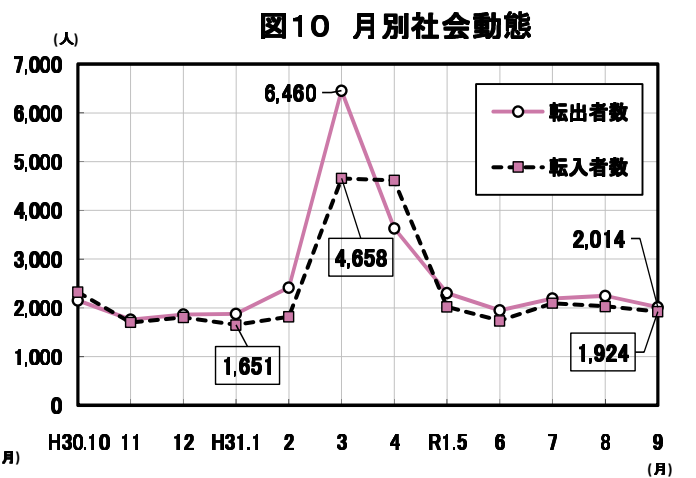
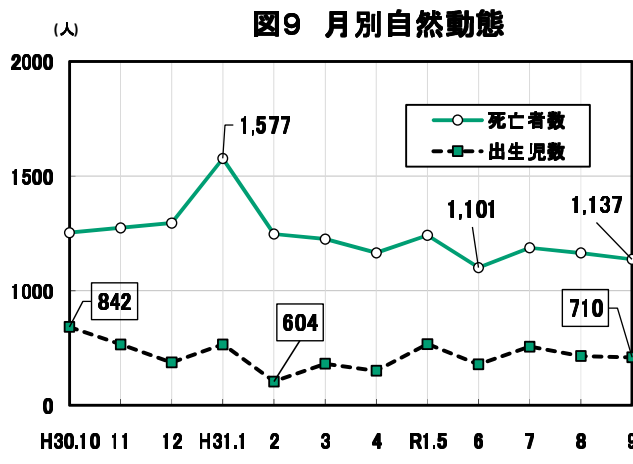
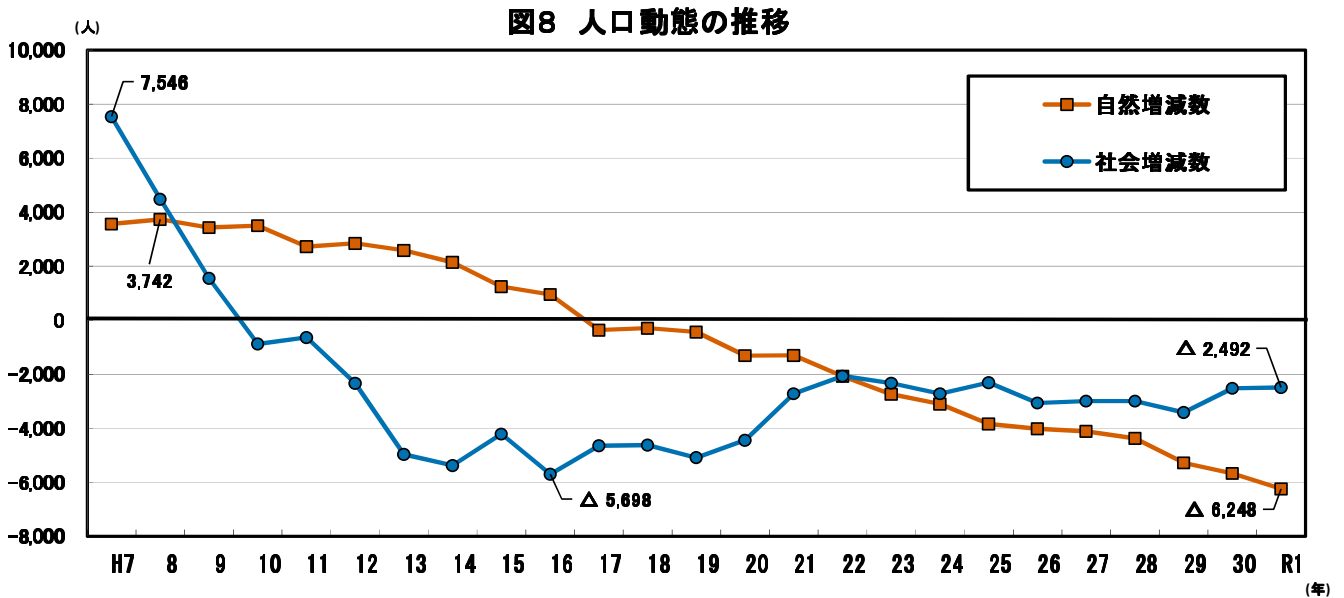


表2 年別人口動態

(単位:人)

年 月	増減数	自然動態 ※1			社会動態 ※1			外国人 登録者数増減
		出生児数	死亡者数	自然増減数	転入者数	転出者数	社会増減数	
平成6年10月～平成7年9月	11,326	13,557	9,996	3,561	46,816	39,270	7,546	219
平成7年10月～平成8年9月	8,390	13,489	9,747	3,742	43,993	39,513	4,480	168
平成8年10月～平成9年9月	5,088	13,573	10,141	3,432	42,414	40,867	1,547	109
平成9年10月～平成10年9月	2,794	13,637	10,136	3,501	38,838	39,714	△ 876	169
平成10年10月～平成11年9月	2,004	13,351	10,626	2,725	37,856	38,486	△ 630	△ 91
平成11年10月～平成12年9月	475	13,225	10,373	2,852	36,692	39,029	△ 2,337	△ 40
平成12年10月～平成13年9月	△ 1,875	12,928	10,338	2,590	34,573	39,542	△ 4,969	504
平成13年10月～平成14年9月	△ 3,309	12,673	10,524	2,149	33,289	38,669	△ 5,380	△ 78
平成14年10月～平成15年9月	△ 3,035	12,259	11,007	1,252	32,464	36,676	△ 4,212	△ 75
平成15年10月～平成16年9月	△ 4,607	11,866	10,906	960	31,294	36,992	△ 5,698	131
平成16年10月～平成17年9月	△ 4,740	11,384	11,743	△ 359	30,510	35,153	△ 4,643	262
平成17年10月～平成18年9月	△ 4,987	11,404	11,692	△ 288	29,807	34,434	△ 4,627	△ 72
平成18年10月～平成19年9月	△ 5,498	11,404	11,839	△ 435	29,646	34,737	△ 5,091	28
平成19年10月～平成20年9月	△ 5,751	11,097	12,406	△ 1,309	28,914	33,354	△ 4,440	△ 2
平成20年10月～平成21年9月	△ 4,123	10,840	12,143	△ 1,303	29,059	31,784	△ 2,725	△ 95
平成21年10月～平成22年9月	△ 4,173	10,743	12,821	△ 2,078	28,041	30,105	△ 2,064	△ 31
平成22年10月～平成23年9月	△ 5,041	10,514	13,251	△ 2,737	27,713	30,043	△ 2,330	26
平成23年10月～平成24年9月	△ 5,997	10,468	13,571	△ 3,103	27,422	30,144	△ 2,722	△ 172
平成24年10月～平成25年9月	△ 6,141	10,321	14,160	△ 3,839	29,367	31,669	△ 2,302	
平成25年10月～平成26年9月	△ 7,083	9,812	13,830	△ 4,018	28,513	31,578	△ 3,065	
平成26年10月～平成27年9月	△ 7,104	9,984	14,098	△ 4,114	28,520	31,510	△ 2,990	
平成27年10月～平成28年9月	△ 7,366	9,577	13,946	△ 4,369	27,954	30,951	△ 2,997	
平成28年10月～平成29年9月	△ 8,693	9,071	14,351	△ 5,280	27,712	31,125	△ 3,413	
平成29年10月～平成30年9月	△ 8,187	8,960	14,631	△ 5,671	27,881	30,397	△ 2,516	
平成30年10月～令和元年9月	△ 8,740	8,625	14,873	△ 6,248	28,386	30,878	△ 2,492	

※1:平成24年6月分までは日本人のみ、平成24年7月からは外国人を含む。

表3 月別人口動態(平成30年10月～令和元年9月)

(単位:人)

年 月	増減数		自然動態			社会動態								
			出生児数	死亡者数	自然増減数	転入者数	転出者数	社会増減数						
平成30年 10月中	△ 245	(247)	842	(7)	1,254	(8)	△ 412	(△ 1)	2,323	(429)	2,156	(181)	167	(248)
11月中	△ 565	(176)	766	(7)	1,274	(9)	△ 508	(△ 2)	1,703	(316)	1,760	(138)	△ 57	(178)
12月中	△ 670	(73)	687	(4)	1,296	(5)	△ 609	(△ 1)	1,805	(259)	1,866	(185)	△ 61	(74)
平成31年 1月中	△ 1,042	(89)	766	(4)	1,577	(6)	△ 811	(△ 2)	1,651	(241)	1,882	(150)	△ 231	(91)
2月中	△ 1,245	(△ 10)	604	(4)	1,247	(6)	△ 643	(△ 2)	1,818	(208)	2,420	(216)	△ 602	(△ 8)
3月中	△ 2,346	(77)	682	(7)	1,226	(5)	△ 544	(2)	4,658	(455)	6,460	(380)	△ 1,802	(75)
4月中	470	(304)	651	(6)	1,166	(3)	△ 515	(3)	4,616	(547)	3,631	(246)	985	(301)
令和元年 5月中	△ 753	(169)	767	(6)	1,242	(7)	△ 475	(△ 1)	2,024	(335)	2,302	(165)	△ 278	(170)
6月中	△ 632	(8)	679	(6)	1,101	(2)	△ 422	(4)	1,737	(184)	1,947	(180)	△ 210	(4)
7月中	△ 528	(165)	756	(2)	1,188	(5)	△ 432	(△ 3)	2,097	(340)	2,193	(172)	△ 96	(168)
8月中	△ 667	(112)	715	(2)	1,165	(5)	△ 450	(△ 3)	2,030	(364)	2,247	(249)	△ 217	(115)
9月中	△ 517	(163)	710	(5)	1,137	(2)	△ 427	(3)	1,924	(399)	2,014	(239)	△ 90	(160)
計	△ 8,740	(1,573)	8,625	(60)	14,873	(63)	△ 6,248	(△ 3)	28,386	(4,077)	30,878	(2,501)	△ 2,492	(1,576)

※ かつこ内は外国人(内数)の数値である。

(1) 自然動態 [市町村別] (平成30年10月1日から令和元年9月30日まで)

○ 出生数が死亡数を上回っている市町村 (2市町)

自然増減数(率) 香芝市 53人 (0.07%)、王寺町 1人 (0.00%)

○ 出生数が死亡数を下回っている市町村 (37市町村)

自然増減数が少ない上位3市町村 奈良市 Δ 1,547人、大和高田市 Δ 393人、大和郡山市 Δ 373人
 自然増減率が低い上位3市町村 東吉野村 Δ 3.58%、川上村 Δ 3.37%、上北山村 Δ 2.70%

図11 市町村別自然増減数 (H30.10.1~R1.9.30)

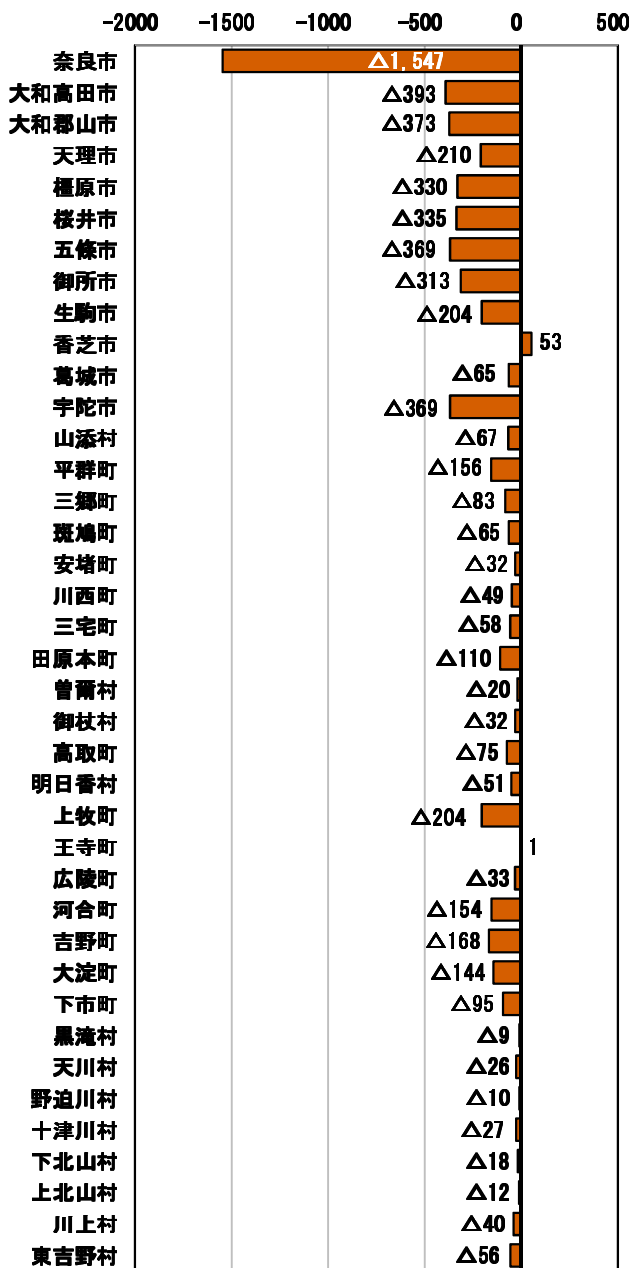
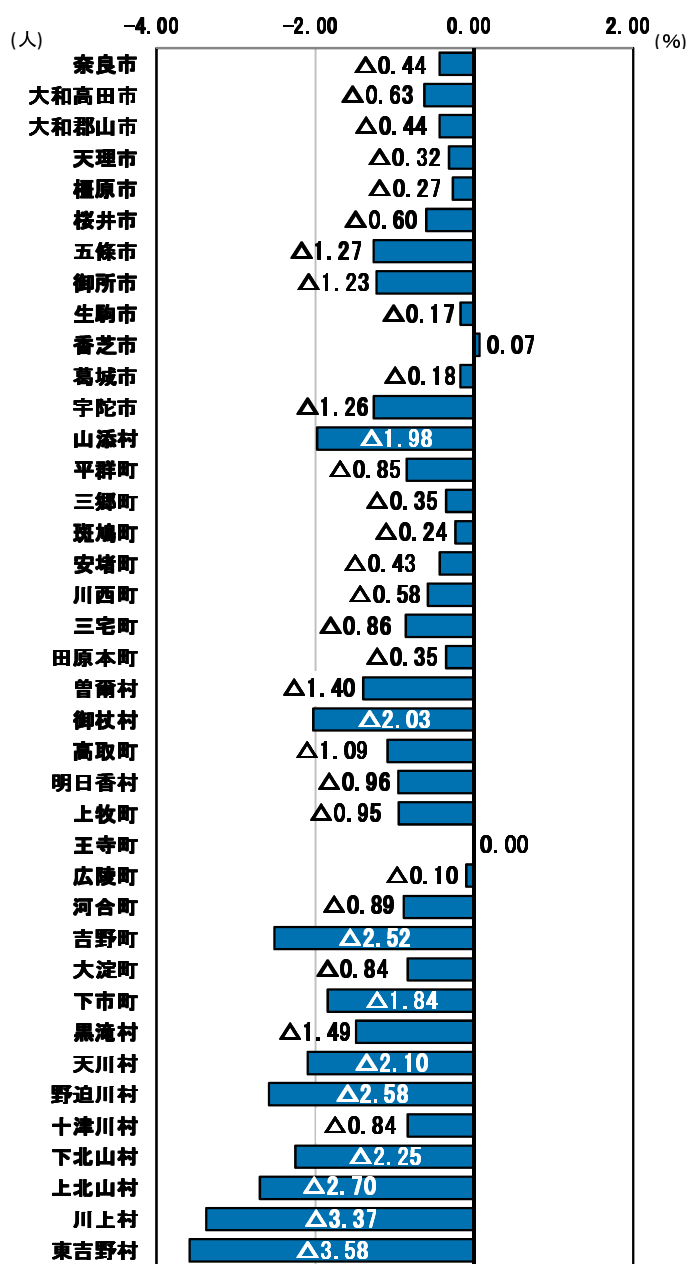


図12 市町村別自然増減率 (H30.10.1~R1.9.30)



(2) 社会動態 [県外移動者] (平成30年10月1日から令和元年9月30日まで)

- 都道府県別転入者数
転入者が多い上位3都道府県 大阪府 8,839人、京都府 2,259人、兵庫県 1,846人
- 都道府県別転出者数
転出者が多い上位3都道府県 大阪府 9,802人、京都府 2,843人、東京都 2,478人
- 都道府県別転出超過数(転出者数－転入者数)
転出超過数が多い上位3都道府県 東京都 1,012人、大阪府 963人、京都府 584人
- ブロック別転入・転出状況
転入・転出とも、近畿ブロックが最多

図13 毎年10月1日現在の推計人口の推移

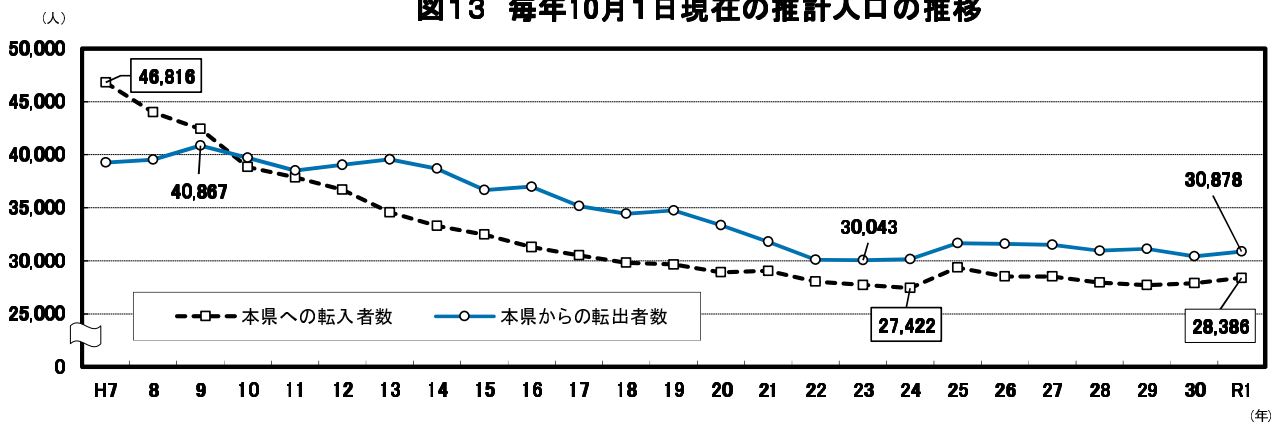
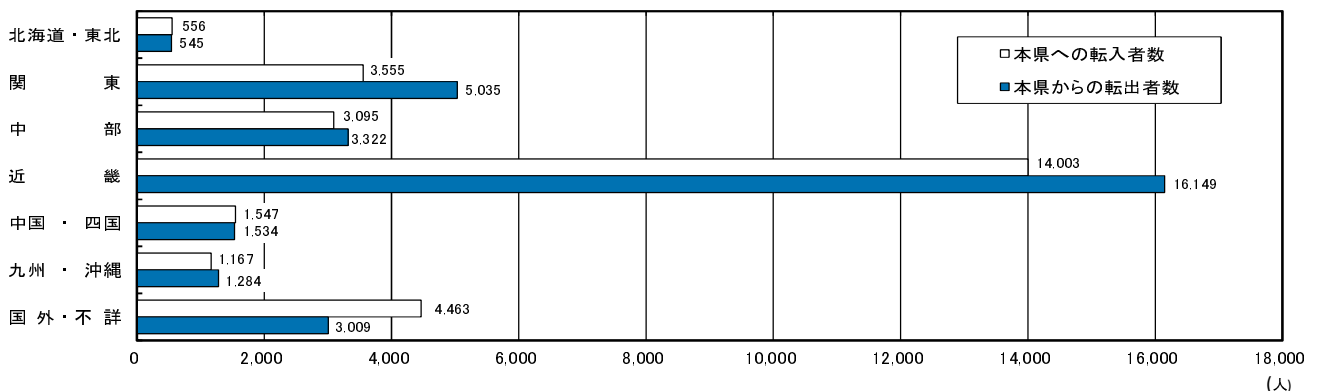


表4 県外移動者数(上位10都道府県)(平成30年10月1日～令和元年9月30日)

	本県への転入者数			本県からの転出者数			転出超過(転出-転入)数		
	都道府県名	人数(人)	構成比(%)	都道府県名	人数(人)	構成比(%)	都道府県名	人数(人)	構成比(%)
1	大阪府	8,839	31.14	大阪府	9,802	31.74	東京都	1,012	40.61
2	京都府	2,259	7.96	京都府	2,843	9.21	大阪府	963	38.64
3	兵庫県	1,846	6.50	東京都	2,478	8.03	京都府	584	23.43
4	東京都	1,466	5.16	兵庫県	2,204	7.14	兵庫県	358	14.37
5	三重県	958	3.37	愛知県	1,197	3.88	愛知県	251	10.07
6	愛知県	946	3.33	神奈川県	974	3.15	神奈川県	207	8.31
7	神奈川県	767	2.70	三重県	927	3.00	千葉県	156	6.26
8	和歌山県	531	1.87	千葉県	678	2.20	滋賀県	144	5.78
9	滋賀県	528	1.86	滋賀県	672	2.18	埼玉県	114	4.57
10	千葉県	522	1.84	和歌山県	628	2.03	和歌山県	97	3.89

図14 県外移動者ブロック別状況(平成30年10月1日～令和元年9月30日)



(3) 社会動態【市町村別】 (平成30年10月1日から令和元年9月30日まで)

○ 転入超過の市町村 (11市町村)

転入超過数の多い上位3市町村 奈良市 186人、斑鳩町 95人、川西町 67人

○ 転出超過の市町村 (27市町村)

転出超過数の多い上位3市町村 生駒市△391人、天理市△338人、宇陀市△299人

※ 上記転入・転出超過数は県内移動と県外移動を合わせた合計である。

図15 市町村別転入・転出超過数 (H30.10.1~R1.9.30)

